

令和 5 年度
第 3 回豊後大野市地域公共交通活性化協議会
豊後大野市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和 6 年 2 月 19 日（月） 10：00～

場所：豊後大野市役所 4F 正庁ホール



1. 開会
事務局

ただいまより、令和 5 年度「第 3 回豊後大野市地域公共交通活性化協議会及び豊後大野市地域公共交通会議」を同時開始いたします。（資料確認）
17 名参加（欠席者は全員委任状）ということで、会議は成立しております。

2. 会長あいさつ

会長

豊後大野市副市長の藤田でございます。
本日は、何かとご多用のところ、本会議にご出席いただきありがとうございます。
委員の皆様には、平素より本市交通行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
本日は、学生そして大分県からの発表など、2 件の報告案件のほかに、3 件の案件についてご議論をお願いしたいと考えております。
本日は、最後までよろしくお願いいたします。

3. 議題
報告案件

第1号報告 研究成果等の発表について

事務局 豊後大野市の公共交通利用促進の取組みについて説明

大分県先端 医療 MaaS の成果について説明

技術挑戦課

大分大学 おでかけま〜すの成果について説明

大井研究室

事務局 補足説明として、今回、活用が容易な LINE 電話を使用して土師公民館と A コープおおの店をつないで遠隔ショッピングを行いました。今回遠隔ショッピングに参加した方々は、家族等に買い物を頼っていてほぼ自身で買い物をしない方だったため、自分で買い物する楽しさを非常に感じておられたように思います。

<質疑>

会長 ご意見ご質問があればお願いします。

矢野委員 田舎では商店もどんどん閉店していて、大野では A コープくらいしか買い物をする施設が無い状況です。若者は Amazon などネットを使って買い物している状況です。高齢の親御さんだけの世帯では、その子供が買い物をしてきてくれるか買い物に連れて行ってくれています。では、本当に買い物に行けなくて困っている人がどれくらいいるか、というのを知りたいと思います。

事務局 医療 MaaS については、豊後大野市には市民病院があるが、送り迎えはしてくれません。一方、民間の天心堂病院などは送り迎えをしてくれます。このような対応が必要とされてきていると思いますが、通院においても本当に困っている人がどの位いるのか、分かればと思います。

事務局 こうした買い物や通院の移動で本当に困っている人がどれくらいいるか知っていれば教えてほしい。商業施設については地元を利用しなくなり、遠くの安いドラッグストアなどへの買い物に流れていて、地元の商店の閉店を促進している状況にあることを危惧しています。

事務局 学生さんは集落全戸を訪問して世帯の状況を把握してはいますが、困っている状況は各世帯で異なり、多様であると思います。今回は遠隔ショッピングや医療 MaaS の取組みを実施しました。これで全てが解決するわけではないと思いますが、どの位の課題解決に資するのかを実証するために実施しました。商業施設の件についても、地元を利用しなくなったとの声も聞いており、この遠隔ショッピングをきっかけに地元商店を利用するようになれば、地元商店の存続にもつながることを期待しています。

宗像委員 私の母親が市内に住んでおり、参考になればという提案です。市内はケーブル TV が全戸につながっているかと思います。ケーブルは TV を見るく

らしいの機能しか使っていないということです。買い物などの注文ができるようになるという声もありました。CATV の活用についても何かご検討いただければ、と思います。

会長 総務課の所管になるため担当課に伝えたいと思います。CATV は防災の面でも活用を検討していますが、買い物についても検討したいと思います。

事務局 豊後大野では、一定以上の金額の購入を条件に配達してくれるお店もあります。買い物にお困りの方については、お店にそういったサービスの有無も確認していただけるといいのではと思います。

第 2 号報告 実施事業の達成状況の評価について

事務局 資料説明。

<質疑>

会長 ご意見ご質問があればお願いします。

特になし

会長 それでは、協議案件に移ります。

協議案件

第 1 号議案 路線バス柿木線の一部休止に伴い佐伯市が行う代替輸送の実証運行について

事務局 資料説明。

<質疑>

会長 ご意見ご質問があればお願いします。

日坂委員 宇目の方は三重の生活圏に入っているため、やむを得ない措置と考えています。地元タクシー会社としては容認せざるを得ないと考えています。

江熊委員 どの会社が運行する予定ですか。

事務局 宇目タクシーさんが運行する予定で事前協議中と聞いています。佐伯市が所有している車両を用いて、運行業務を委託する予定とのこと。

江熊委員 今までと違うという点は、デマンドになっただけという理解でいいですか。

事務局 路線バスの代替輸送として、佐伯市が不定期の予約型定路線のデマンド運行を行うということです。

会長 承認いただける方は拍手を以って承認をお願いします。

一同拍手

会長 第 1 号議案は承認されました。

第2号議案 豊後大野市コミュニティバス本格運行への移行について

事務局 資料説明。

<質疑>

会長 ご意見ご質問があればお願いします。

特になし

会長 承認いただける方は拍手を以って承認をお願いします。

一同拍手

会長 第2号議案は承認されました。

第3号議案 各交通事業者の現状について

事務局 資料説明。

尾田委員代 理 JR九州全体で2018年と比較して収入は90%程度まで回復してきています。豊肥本線では約78%、三重町駅で70%であり、全体よりも戻りが悪い状況にあります。豊肥本線はR6のダイヤ改正での減便は予定していませんが、全体としては課題も残っているところがあると認識しています。

中山委員 乗合は前年比較では増収となっており、これは臼三線の増加が要因です。この路線は通学利用が多く、高校生の利用が増えています。そのため、1年1年で学生の入替わりがあり、利用の増減に左右されるところがあります。貸切も収入としては年々増加していますが、運転手不足により収入の機会を逃すことがあります。運転手不足が一番の課題であり、運転手の高齢化や転職によって深刻化しており、その要因の一つが待遇問題だと考えています。運転手の給与を昨年2万円上げたところですが、それでも初任給が17万円を超えたくらいの状況です。給与だけの問題ではなく、その他色々な問題もあると思っています。そのため、柿木線の休止の議案もありましたが、路線やダイヤの見直しを行い、勤務数に手を付けざるを得ない状況になっています。

近い将来、今の形のままでの公共交通は維持できないと考えていて、抜本的に考え直さないといけない中で、輸送資源の総動員をしつつ、ライドシェアなどの法的な点も考慮して、地域の実情に応じて検討していかないと考えています。バス事業者としては、自前で運行できる路線は1つもない中で、自治体の交通政策に対して協力できるところは最大限協力していく必要があると思います。民間事業者としては収支の目標があり、一方で自治体では市民サービスの向上という利便性を目標とされるため、相反する部分もありますが、相互歩み寄りによって協力できることはしていきたいと思っています。現在、ジモテキのエリア拡大や、ゾーン制運賃

の導入について検討を行っているところであり、今後の公共交通のあり方について色々な試みを模索していきたいと思います。

協委員

全国のバス事業者で同様の問題を抱えています。運転手が集まらない要因として、やはり給与が安いという点があります。路線バスの99%は赤字となっており、不動産等の黒字で内部補填しながら事業を維持してきたという経緯があります。ようやくバス会社も運賃の値上げをしてきていますが、それも30年ぶりに値上げしたという状況で、ほとんどバス会社の収入も上がっていません。大野竹田バスの給与を上げたということでしたが、給与を上げただけで収入が上がらなければ赤字が拡大してしまいます。自治体においては補助を増加するようにお願いしたいと思います。このままではバスも無くなってしまおうし、タクシーも同様の状況かと思えます。代替としての自家用有償も安全性等のところで懸念があります。加えて、自治体が運行するバスの運賃が安すぎると思います。これでは事業として成り立ちません。利用者・自治体から相応の負担をいただく必要があると思っています。日本バス協会では外国人を運転手として雇用することも検討しています。また、自動運転についても実現まではまだ時間がかかる見込みであり、こうした厳しい状況にご理解いただきたいと思えます。

日坂委員

大分大学の学生さんからの提案は非常に有難いもので、行政とのタイアップを進めるのに良い影響を与えてくれるのではないかと思います。

R5年の1月からの年間運送収入とR4年の収入を比較すると、ほぼ横ばいとなっています。いろいろなものが値上げされており、経費が増加しています。昨年はコロナが5類に移行されましたが、豊後大野市では恩恵があまりなかったと思います。運賃を12%値上げしたにも関わらずR5年の収入が変わらなかったというのは、いかに経営が厳しいかということが分かっていただけだと思います。公共交通という位置づけについて、非常に重い荷物を背負っているように感じてしまうこともあります。運送収入という原資がないと地域の足を確保するという施策も実施できません。NHKの番組で、タクシー運転手の賃金は全産業の中で下位になっているとありましたが、これでは、タクシーの担い手になろうとする人が出てきません。原資がないと賃金を上げることもできません。2種免許の取得費用がかなりかかることもあり、運転手になろうとする人がなかなか出てきません。若い人では市外に就職に出る人も多いので、2種免許取得の費用負担を支援するなどして、この地域で雇用して、原資も確保できれば、自治体の交通政策にも協力できると思います。

江熊委員

まずは、各自治体の皆様と連携・協力してコミバスの運行等を受託できて

おり感謝申し上げたいと思います。豊後大野市での収益は厳しい状況ということでしたが、県全体ではやや運収増加してきているところです。今年度は運転者を増やさないと収入が伸びないため、収入を伸ばす施策として、人材募集の広告やパンフレットを作成しています。豊後大野市でもぜひその掲示などで協力していただければ、と思います。

今日は公共交通会議なので本来は公共交通を使って来るべきところでしたが、天候が悪かったために車で来ることになりました。まずは自分たちで公共交通を使うことを意識したいと思っています。

事務局 公共交通についての議論をする機会はあまり多くないと思いますが、公共交通が無いと移動手段に困ってしまうという問題がどうしても出てきてしまいます。そこで、移動サービスと聞くと、どうしても利用者から福祉的なサービスとして、無料のようなイメージを持たれてしまう側面もあるかと思います。本来は対価をもらって、交通事業として維持していくということが望まれるかと思います。こういった公共交通の状況を、市報や市のHP等を通じて市としても情報発信していきたいと思っています。

<質疑>

会長 ご意見ご質問があればお願いします。

特になし

会長 市報等を通じて公共交通の状況を広報することについて、承認いただける方は拍手を以って承認をお願いします。

一同拍手

会長 第3号議案は承認されました。

4. その他

事務局：特になし

会長：その他ご意見等ございましたらお願いします。

大井委員：皆様のご協力もあって今日の発表まで何とかこぎつけることができました。また学生の論文が入賞することもできました。市の事業について今後も協力させていただきたいと思います。また、今日は名古屋大の講義の関係から参加者がいるため、この後の時間で意見交換も少しさせていただきたいと思います。

5. 閉会

事務局：本日の協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。